



歴史を紡ぎ、 未来を形づくる

内閣官房内閣総務官室専門官

原裕 HARA Yutaka

平成 31年 4月 総務省採用
行政管理局企画調整課
令和 2年 7月 カジノ管理委員会事務局監督調査部財務監督課
令和 4年 7月 総務省大臣官房企画課サイバーセキュリティ・情報化推進室総括係長
併任 秘書課働き方改革・業務見直し推進室室員
令和 6年 4月 内閣官房内閣総務官室調整第2担当主査
兼 企画第3担当主査
令和 7年 7月 同 専門官
兼 企画第2担当主査

国の意思決定に向き合い、歴史を紡ぐ

私が出向している内閣総務官室は、内閣を支える部署です。内閣制度が創設されてから140年を迎えた節目の年であった2025年には、140周年を記念する行事にも携わり、長い歴史の積み重ねの上に今の行政があることを実感しました。

日々の業務では、経済政策、地方創生、防災、安全保障などあらゆる国の重要課題に関わる内閣官房の閣議決定や法令の審査を担い、国の意思決定が適切に行われるよう裏側から支えています。また、組閣という新たな内閣が始まる歴史的に重要な局面では、内閣総務官室の職員全員で準備を行い、緊張感と責任の大きさを共有しながら総力を挙げて仕事に向き合います。

国の根幹に関わる現場で、自らの仕事が確実に歴史の一部を紡いでいく——その実感が、この仕事の魅力の一つです。

前例のない課題に挑み、 未来を形づくる

これまで私は、局のオフィス改革や総務省におけ

るDX、働き方改革の推進など、職員の様々な意見を聞きながら、決まった答えがない中で、行政の在り方を見直す業務に携わってきました。また、カジノ規制という日本に前例のない事業に対する規制の検討に当たっては、外国の制度を参考にしながらも他の日本の規制にも適合する制度作りを模索するなど、新しい行政分野に挑む経験もしました。

変化の激しい時代であるからこそ、行政自らが変わり続け、未来を形づくる。その最前線に立つことができることもまた、この仕事の魅力です。

次世代につなぐ

歴史ある内閣を支えつつ、行政の変革に果敢に取り組める環境がここにはあります。たとえ少しずつであっても、一つ一つの業務が様々な課題を解決し、新たな時代を築いていくという確かな手触りを感じられること——それは「国でしかできない仕事」を実感できる瞬間です。

そして、これから先も、国民の声をしっかりと反映したより良い施策を生み出せるような行政基盤や、行政の多くの仲間が能力を発揮して仕事の魅力を実感できる職場環境を整えることで、次世代の国民が暮らしやすい国づくりを行うことこそが我々総務

省職員のミッションの一つだと私は考えています。

次の時代の行政を支える一員として、あなたもこの現場で、歴史を紡ぎ未来を形づくる仕事に挑戦してみませんか。



出張先のオーストラリアで



職場の先輩の勧めで茶道を始めました

『国家のOSを形作る』——学生時代、採用説明会で聞いたその言葉に心が震えました。歴史が好きで、行政の仕組みの変化が国民生活をどう変えるかに関心を持っていた私は、自らの手で、国家の基盤である行政を時代に即したものにしたいと考え、総務省の門をたたきました。

問い続ける力が、政策を動かす

入省して最初に向き合ったのは「問い」です。1年目、行政相談企画課で直面した課題は、行政相談制度の認知度の低さ。「どうすれば国民に届く制度になるのか?」と問い続ける中、局内有志による政策効果検証プロジェクトが発足。回帰分析等を駆使し、行政相談の広報効果を検証した経験は、制度や政策の核心に迫る瞬間でした。時代の変化とともに、制度や政策に求められることも変わります。本質を問い直し、柔軟にアップデートし続ける——それが総務省の仕事の醍醐味です。

挑戦を後押しする文化

総務省には、若手の挑戦を後押しする文化があります。2年目には省内の業務見直しを担当。「業務

見直しは難しそう」という声を解消するため、研修やワークショップ等を企画・運営し、職員の理解と協力を得る仕組みを整えました。困難もありましたが、挑戦を恐れず最後までやり切れたのは、若手の意見を尊重しらせてくれた上司や同僚のおかげです。

法律の先にあるもの

現在は内閣官房内閣人事局で、国家公務員の給与制度を担当しています。一般職給与法の改正では、人事院勧告を踏まえ、政府方針を決定し、法案を作成して国会に提出します。条文審査や国会審議では、一文字の違いが議論になるほど緊張感がありますが、その先にあるのは全国の公務員の生活とモチベーションです。公務員が高い意欲を持って働けば、行政サービスの質が高まり、国民生活の安定と向上に直結します。俸給表の一行が、国民の暮らしを支える——その責任の重さを日々実感しています。

総務省の魅力

総務省の魅力は、業務の幅と挑戦を歓迎する文化にあります。多分野を横断し、関係者と調整しながら最適解を探る仕事だからこそ、完璧な答えより

も問い続けるプロセスが重視されます。

次に政策を動かすのはあなたの「問い」かもしれません。さあ、一緒に未来をデザインしませんか。



行政相談の現場で国民の声の重みを実感!



長期休暇は海外でリフレッシュ!@インド

挑戦するなら、ここで。

内閣官房内閣人事局
(給与第一係長)

御船 裕香子 MIFUNE Yukako

令和 3年 4月 総務省採用
行政評価局行政相談企画課
令和 4年 7月 同 大臣官房秘書課
併任 秘書課働き方改革・業務見直し推進室室員
令和 5年 7月 総務省総合通信基盤局電波部電波環境課監視管理室主査心得
併任 電波政策課
併任 電波政策課携帯周波数割当改革推進室
令和 6年 7月 内閣官房内閣人事局(給与第一係長)

